

## 令和5年度事業報告

### 【総括編】

#### 〔主な事業実績〕

事業名等	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (A)-(B)	摘要	
公益目的事業	不法投棄防止活動				
	県等主催不法投棄防止パトロール等 参加者数	101名	59名	42名	7支部で実施 撲滅キャンペーン再開 (P5～P6)
	不法投棄撤去作業 参加者数 不法投棄撤去作業 箇所数	88名 4箇所	85名 3箇所	3名 1箇所	3支部で実施 (P6)
	災害対策支援事業				
	情報伝達訓練 登録会員数 調査票回収率	304社 78.0%	314社 76.1%	△10社 1.9%	(P7)
	ぼくらはさんばい探偵団 参加者数	205名	105名	100名	7支部で実施 (P8)
	施設見学会大学生等 参加者数	48名	89名	△41名	静岡県立大学 東海大学 (P8)
	環境イベント等啓発活動 参加者数	24社 20名	24社 10名	— 10名	3支部で実施 (P9)
	講習会等				
	各種講習会等	8回 228名	10回 701名	△2回 △473名	環境管理講座の実施等 (P10～P11)
業許可等講習会	27回 1,606名	26回 1,543名	1回 63名	(P13～P14)	
マニフェスト頒布枚数	209,000枚	255,200枚	△46,200枚	(P13)	
会員相互の扶助事業	各支部の勉強会等	7回 564名	3回 407名	4回 157名	5支部(オンライン等)で 実施 (P14～P16)
	表彰件数	23件	21件	2件	知事褒賞、会長表彰、全産連会長表彰 (P16～P17)
	会員数	1,016	1,024	△8	(P20)

〔主な事業〕

≪公益目的事業≫

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄撲滅活動

①統一パトロール及びキャンペーン事業への参加協力

6月の環境月間や12月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄防止統一パトロール及びキャンペーンに支部毎に取り組み、役員等計101名が参加協力した。

②不法投棄防止広報啓発活動の実施

西部支部では、12月の不法投棄撲滅強化月間において、浜松市と製作した不法投棄防止啓発動画を浜松市内の街頭モニター等で放映した。

③不法投棄廃棄物の撤去作業等の実施

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、3支部が県健康福祉センターや最寄りの市などの協力を得ながら役員や会員等計88名の参加により、県内4か所の不法投棄廃棄物の撤去作業等に取り組んだ。

また、今年度も、富士支部が県の富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業に協力した。

④不法処理防止に関わる情報収集

中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議や静岡県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会に出席し、不適正処理事案や不法投棄対策事例などの不法処理防止に関わる情報収集に努めた。

(2) 災害対策支援事業の実施

①災害廃棄物処理実地研修の開催

令和3年熱海市土砂災害の災害廃棄物処理の現場において災害廃棄物処理実地研修を開催した。

②災害廃棄物対策研修会の開催

令和5年11月22日に、青年部協力のもと「災害廃棄物オンライン研修」を開催し、会員及び行政機関等108名が参加した。

③災害廃棄物処理情報伝達訓練等の実施

令和6年1月17日から1月24日にかけて、災害廃棄物処理協力会員を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練及び資機材調査を実施した。

④災害廃棄物処理に関わる情報収集

大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会や中部地域協議会災害廃棄物支援協定担当者会議に出席し、災害廃棄物処理広域連携に関わる情報収集に努めた。

2 適正処理啓発事業

(1) 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんぱい探偵団」の実施 (P8)

平成5年度から実施している、「ぼくらはさんぱい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」は、7支部8コースで実施し、小学生の親子等計96組205名が参加した。

## (2) 大学生を対象とした処理施設視察会の実施

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学と東海大学の学生を対象に実施し、学生等 48 名が参加した。静岡県立大学ではこの視察会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

## (3) 環境イベント等への参加による啓発活動

富士支部及び志太榛原支部の役員や会員が最寄りの市等が実施する環境イベント等に参加し、不法投棄の防止や 3R の推進などの啓発活動を行った。

西部支部では、浜松市内において、会員企業 24 社の環境等報告書の啓発展示を実施し、地域生活環境の保全や 3 R 活動等の普及啓発を行った。

## 3 能力開発支援事業

### (1) 全国的な会議等への参加による情報収集

(公社)全国産業資源循環連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等(計 12 回 Web 会議を含む。)に役員等が積極的に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

### (2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応

ホームページやメールなどにより、タイムリーな情報提供に努めるとともに、許可手続、適正処理、リサイクルなどの相談にも随時対応した。

### (3) 各種講習会・研修会の開催

専門性の高い知識習得のための専門部会の勉強会、労働災害防止を図るための「安全衛生講習会」、産廃処理業者優良認定制度の普及促進に向けた「排出事業者向け普及啓発講習会」等を会場又はオンラインにより 8 回開催し、228 名の参加があった。

### (4) 専門部会等の活動

医療廃棄物、建設廃棄物、食品廃棄物、中間処理、青年、女性の各専門部会では、オンラインによる幹事会や勉強会の開催、(公社)全国産業資源循環連合会の専門委員会等への参加などを通じて活動した。

食品廃棄物部会では、(公社)全国産業資源循環連合会会長に対して再生肥料製造に関する現状把握調査の実施を要望した。

### (5) 「しずおかの産廃」発行等事業

協会機関誌「しずおかの産廃」及び「産廃技術ニュース」を年 4 回発行し、各種情報を提供した。

また、協会ホームページ内に会員専用ページを開設し、情報発信を強化した。

### (6) 人材確保育成事業

産業廃棄物に係る分野での人材育成を目的に、県内 4 校の特別支援学校生徒を対象に環境出前講座を実施した。

#### 4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業

産業廃棄物処理の適正処理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を209,000枚頒布した。

#### 5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、オンライン形式講習会(パソコン等で講義動画を視聴して受講し、会場で試験のみ受ける)25回と対面形式講習会(会場で講義を受講し、試験を受ける)2回の計27回を実施し、1,606名が受験した。

### 《会員相互の扶助事業》

#### 1 支部運営事業

##### (1) 各支部主催の勉強会等の開催

5支部において勉強会、説明会等を7回開催し、564名の参加があった。

##### (2) 各支部主催の視察研修会

7支部において県内外の優良施設等を対象に視察研修を行い、会員等計77名が参加

#### 2 意識啓発向上事業

##### (1) 暴力追放推進事業

令和5年6月14日に暴力追放推進協議会第23回大会を開催した。

##### (2) 労働安全衛生事業

産業廃棄物処理業における労働安全水準のなお一層の向上を図るため、第3次労働災害防止計画(令和5年度～令和7年度)の運用を開始した。

また、「安全衛生方針(ひな形)」を作成し、産業廃棄物処理業の経営者トップによる所信表明を働きかけた。

##### (3) 表彰

###### ①産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

令和4年度知事褒賞に会員1名が受賞した。

###### ②会長表彰

令和4年度会長表彰に、功労者表彰5名、優良従事者表彰6名、優良事業所表彰2社、安全優良職長表彰2名、安全優良事業所表彰2社が受賞した。

###### ③(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰

令和5年度(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰に、当協会関係では、功労者表彰1名、地方功労者表彰1名、優良従事者表彰3名が受賞した。

##### (4) 人材確保育成事業

令和5年10月3日に「産業廃棄物処理基礎講座」を開催し、会員企業の新任担当者等57名の参加があった。

## 【詳細編】

### I 公益目的事業

#### 1 適正処理推進事業

##### (1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が5月30日～6月5日のごみ減量・リサイクル推進週間及び6月の環境月間に静岡県等の実施する統一パトロールに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：令和5年5月30日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター		雨天により中止
	東部 //	沼津市、御殿場市、裾野市、伊豆市、長泉町	東部支部役員 11名
	中部 //	島田市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員等 10名
	西部 //	磐田市	中遠支部役員 1名
浜松市		浜松市	西部支部役員等 13名
計			35名

- ② 支部役員等が12月の不法投棄撲滅強化月間に静岡県の実施する不法投棄防止統一パトロール及びキャンペーン事業に参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：令和5年12月1日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 1名
	東部 //	沼津市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、長泉町	東部支部役員 8名
	中部 //	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員 13名
	西部 //	磐田市	中遠支部役員 1名
計			23名

ii) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：令和5年12月8日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	東急ストア下田店	伊豆支部役員 3名
	東部 //	J R 沼津駅南口	東部支部役員等 4名 富士支部役員 3名
	中部 //	J R 藤枝駅	志太榛原支部会員等 14名
	西部 //	J R 磐田駅	中遠支部役員等 8名
	廃棄物リサイクル課	J R 静岡駅	中部支部役員等 11名
計			43名

ii) 街頭モニターを利用した不法投棄防止広報啓発

西部支部では、12月の不法投棄撲滅強化月間において、浜松市と製作した不法投棄防止啓発動画を浜松市内の街頭モニター等で放映した。

- ③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において最寄りの行政機関等の協力を得て不法投棄廃棄物の撤去・処分作業等を実施した。

支部名	実施日	実施機関	場所	実績	参加者
富士	令和5年 11月17日	富士支部 静岡県	富士宮市 山宮	建設系混合廃棄物 51.14 t	当日が荒天のため、協力事業者による作業のみ実施
中部	12月1日	中部支部 静岡市	静岡市 清水区	可燃ごみ等 480 kg	中部支部役員 静岡市職員等 23名
志太榛原	11月11日	志太榛原 支部	島田市	可燃ごみ等 6750	志太榛原支部会員企業の社員 及びその家族等 58名
	令和6年 2月15日	志太榛原 支部	島田市	古い年式のたばこ自動販売機 1台	志太榛原支部役員等 7名
計					88名

- ④ 令和5年5月18日に岐阜県で開催された中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議に会長、適正処理委員長が出席し、国、中部四県(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)及び中部四県の政令市並びに中部四県協会等の産業廃棄物不法処理防止に係る取り組み等について情報共有した。
- ⑤ 令和5年10月18日に静岡市で開催された静岡県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会に事務局が出席し、静岡県及び政令市並びに静岡県警察本部等と産業廃棄物不法処理防止に係る取り組み等について情報共有した。
- ⑥ 令和6年3月13日に適正処理委員会を開催し、適正処理事業等について協議した。

## (2) 災害対策支援事業

### ① 災害廃棄物処理実地研修の開催

災害廃棄物処理に係る一連の現場業務について理解を深めるための支部担当役員を対象とした「災害廃棄物処理実地研修」を開催した。

開催日	内 容	参加者
令和5年 6月19日	研修場所／令和3年熱海市土砂災害の災害廃棄物処理現場 ・公費解体現場の見学（熱海市逢初橋付近） ・災害廃棄物仮置場の見学（笹尻仮置場） ・市担当者との意見交換（熱海市環境センター）	各支部災害廃棄物対策担当役員等17名

### ② 災害廃棄物対策研修会の開催

協会の災害廃棄物処理支援事業の実効性の確保及び市町との災害廃棄物処理対策に係る連携の強化を目的に、災害廃棄物処理協力会員及び市町担当職員を対象とした「災害廃棄物オンライン研修」を青年部協力のもと開催した。

開催日	内 容	参加者
令和5年 11月22日	・静岡県における災害廃棄物対策の状況について ・当協会の取り組み～令和4年台風15号による災害を受けて見えてきた課題～ ・災害廃棄物処理業務実施に当たっての実務的ポイント ・グループワーク	108名 *会員等82名 県・市町職員26名

- ③ 令和6年1月17日から1月24日にかけて、災害廃棄物処理協力会員304社を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練及び資機材調査（調査票回収率78.0%）を実施した。
- ④ 令和5年7月21日、適正処理委員会及び青年部会との合同委員会を開催し静岡県職員同席のもと令和4年台風15号災害での災害廃棄物処理に関わる課題への対応等について意見交換した。
- ⑤ 令和5年12月13日、令和6年2月28日に災害対策委員会を開催し、災害廃棄物対策支援事業等について協議した。
- ⑥ 令和5年9月21日、令和6年2月7日にオンラインにより開催された環境省中部地方事務所主催の「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会」に専務理事が出席した。
- ⑦ 令和5年11月27日に愛知県名古屋市内で開催された中部地域協議会災害廃棄物支援協定担当者会議に専務理事及び担当事務局員が出席し、中部四県の協会が実施する災害廃棄物処理支援事業等について情報交換した。

## 2 適正処理啓発事業

### (1) ぼくらはさんばい探偵団事業

- ① 身近な環境学習の場の提供として、令和5年7月25日から8月4日にかけて、「ぼくらはさんばい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」を全7支部で実施(中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施)し、小学生の親子等96組205名が参加した。

支部名	開催日	見 学 先	参加者数
伊豆	令和5年 8月4日	・(株)イーシーセンター ・(株)エコネコル	14組 32名
東部	7月26日	・アサヒ飲料(株)富士山工場 ・(株)アサギリ	13組 26名
富士	8月2日	・アサヒ飲料(株)富士山工場 ・(株)稲葉商店	14組 29名
中部 (静岡地区)	7月25日	・はごろもフーズ(株)新清水プラント ・丸徳商事(有)	5組 10名
中部 (清水地区)	7月28日	・(株)J-オイルミルズ静岡事業所 ・丸徳商事(有)	9組 21名
志太榛原	8月4日	・(株)明治 東海工場 ・環境のミカタ(株)	17組 35名
中遠	7月27日	・天星製油(株) ・(株)富士エコサイクル	8組 18名
西部	8月1日	・(株)太洋サービス ・(株)富士エコサイクル	16組 34名
計			96組 205名

- ② 参加した小学生の親子から感想文を募集して、文集CD「ぼくらはさんばい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。

### (2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんばい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学と東海大学の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会を実施した。静岡県立大学では、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視 察 先	参 加 者
令和5年 11月30日	・(株)リサイクルクリーン袋井工場 ・ハウス食品(株)静岡工場	静岡県立大学大学院食品栄養科学部 環境生命科学科生及び教員28名
令和6年 2月1日	・静和エンバイロメント(株) ・(株)いちまる食品事業本部	東海大学海洋学部環境社 会学科生及び教員20名
計		48名



### (3) 展示会等出展事業

各支部において最寄りの市等が実施する環境イベント等に出展・参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。

支部名	実施日	イベント・内容	参加者
富士	令和5年 11月4日	「富士市産業まつり商工フェア」 @富士市中央公園 ・リサイクル製品原料当てクイズの実施 ・3Rの推進などの啓発活動	支部役員等 8名
志太榛原	11月19日	「SBS わんぱくフェスタ」 @SBS マイホームセンター藤枝展示場 ・環境クイズ	支部役員等 12名
西部	8月	「環境等報告書の展示」 @浜松市西部清掃工場内 ・地域生活環境の保全や3R活動等の普及啓発	会員企業 24社
計			20名 24社

### 3 能力開発支援事業

#### (1) 各種会議等への参加による情報収集

##### 【(公社)全国産業資源循環連合会関係】

開催日	開催場所	会議名	参加者(協会)
令和5年 4月26日	静岡県	中部地域協議会第1回専務理事会議	専務理事
6月16日	東京都	第13回定時総会	会長、専務理事、理事
8月24日	Web会議	第1回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
9月14日	岐阜県	中部地域協議会 第1回会長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会 第1回全体会議	会長、副会長、専務理事、理事
11月10日	東京都	第19回産業廃棄物と環境を考える全国大会	会長、副会長、専務理事
11月27日	愛知県	中部地域協議会第2回専務理事会議	専務理事
令和6年 1月12日	東京都	新年賀詞交換会	会長、副会長、専務理事
2月8日	三重県	中部地域協議会第3回専務理事会議	専務理事
2月16日	Web会議	第2回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
2月22日	三重県	中部地域協議会 第2回会長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会 第2回全体会議	会長、副会長、専務理事

## (2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

ホームページやメールなどにより適正処理やリサイクル等に関する最新の情報を提供したほか、許可手続等に関する相談を協会本部で電話等により随時対応した。

## (3) 講習会事業

### ①廃棄物処理法等関係法令講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和5年 10月14日	静岡市	・静岡県における気候変動影響と適応について ・SDGsとESGの国際的流れと日本企業 ・適応事例ー窓ガラスの遮熱塗装開発ー *共催：静岡県環境保全協会 (一社)静岡県環境資源協会	36名
令和6年 2月13日	静岡市	○廃棄物処理施設の基礎知識 *主催：中間処理部会	25名
2月21日	静岡市	○肥料の品質の確保等に関する法律の改正について *主催：食品廃棄物部会	15名

### ②優良認定制度に関する研修会【県産廃処理業者優良認定推進委託事業】

#### i) 優良産廃処理業者認定準備研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和5年 11月15日 11月29日	静岡市	産廃情報ネットを利用した情報公表のための入力作業を行い、優良廃棄物処理業者認定制度の認定基準のひとつ「事業の透明性」への適合を目指す実践形式の研修会	29名

#### ii) 排出事業者向け普及啓発講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和5年 12月6日	静岡市	・排出事業者のための優良産廃処理業者認定制度 ・事業者の取り組み「ヤマハ発動機(株)」 ・グループワーク「産業廃棄物の適正な処理委託」 ・静岡県からお知らせ	10名

### ③安全衛生講習会

開催日	開催方法	内 容	受講者
令和6年 2月20日	オンライン	テーマ「産業廃棄物処理業における組織的な安全衛生活動」 ・産業廃棄物処理における安全衛生活動 ・経営者トップによる安全衛生方針の表明 ・安全衛生活動支援ツールの紹介 *受講者に受講修了書を発行	48名

### ④不当要求防止責任者講習会

企業対象暴力への対策として、県警察本部及び公益財団法人暴力追放運動推進センターの協力のもと開催

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和5年 12月7日	静岡市	・暴力団情勢、暴力団対策法、県暴力団排除条例の概要 ・反社会的勢力への対応要領等 *受講者に受講修了書を発行	65名

## (4) 専門部会活動事業

### ①医療廃棄物部会

- i) 令和5年7月13日、8月30日、令和6年3月5日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和5年9月15日に静岡市内で、当協会、東京都産業資源循環協会及び神奈川県産業資源循環協会との医療廃棄物合同懇談会を開催し、1都2県協会の会員等42名参加のもと、医療廃棄物処理業者が抱える課題への対応等について意見交換した。

### ②建設廃棄物部会

- i) 令和5年12月4日に幹事会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和6年2月19日に総会をオンラインで開催し、次期運営体制や部会事業等について協議した。
- iii) 令和5年10月に、静岡県からの依頼を受けて、建設廃棄物を取扱う部会員30社を対象に建設副産物の処理費等を調査した。
- iv) 令和5年6月28日、10月3日の(公社)全国産業資源循環連合会建設廃棄物運営委員会に部会長がオンラインで出席した。

### ③食品廃棄物部会

- i) 令和5年12月4日に静岡市内で幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和6年2月21日に静岡市内で部会総会を開催し、次期運営体制や部会事業等について協議した。

また、部会総会後の「肥料の品質の確保等に関する法律の改正」をテーマとした勉強会には、会員 15 名が参加した。

iii) 令和 5 年 12 月 28 日付けで、当協会長と食品廃棄物部会長との連名により、(公社) 全国産業資源循環連合会会長に対して再生肥料製造に関する現状把握調査の実施を要望した。(同連合会では、令和 6 年 2 月調査を実施し、3 月 19 日調査結果をとりまとめた。)

#### ④中間処理部会

- i) 令和 5 年 12 月 14 日に静岡市内でオンライン併用により幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和 6 年 2 月 13 日に静岡市内で部会総会を開催し、次期運営体制や部会事業等について協議した。  
また、部会総会後の「廃棄物処理施設の基礎知識」をテーマとした勉強会には、会員 25 名が参加した。

#### ⑤青年部会

- i) 令和 5 年 4 月 11 日、5 月 12 日、6 月 13 日、7 月 7 日、8 月 9 日、9 月 12 日、10 月 13 日、11 月 9 日、12 月 8 日、令和 6 年 1 月 17 日、2 月 16 日、3 月 12 日に幹事会をオンライン等により開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和 5 年 5 月 12 日に総会及び勉強会を開催し次期運営体制や部会事業等について協議した。  
また、部会総会後の勉強会は、第 1 部では「2024 年問題 ～企業・荷主の取り組み～」、第 2 部では「全産連青年部協議会推奨 電子契約書について」をテーマに開催し、部会員 40 名が参加した。
- iii) 令和 5 年 10 月 26 日～28 日に視察研修会を開催した。研修会は全国産業資源循環連合会青年部協議会全国大会への参加及び中部ブロックの事業も兼ねて開催し、視察は(株)トリムを見学をした。静岡県からは 16 名が参加した。
- iv) 令和 6 年 2 月 2 日に部会員交流会を開催し、部会員相互の親睦を深め情報交換等をした。

#### ⑥女性部会

- i) 令和 5 年 7 月 21 日、令和 6 年 1 月 19 日に幹事会をオンラインで開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和 6 年 2 月 15 日に会員 11 名が参加し、部会総会を開催して部会事業等について報告した。また、総会后ピア・サポートコーディネーター・公認心理師の山口氏を招き「早期離職防止のための心理的安全性の高い職場づくり～ピア・サポートに学ぶ～」と題して講演会を開催した。

#### (5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

- ① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年 4 回発行し、協会本部や各支部の活動状況、行政機関から寄せられた情報等に関する各種情報を提供した。
- ② 「産廃技術ニュース」を年 4 回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。

- ③ 令和5年5月9日、9月26日、令和6年3月7日に広報委員会を開催し、機関誌等の発行をはじめ、産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画、人材確保育成事業等について協議した。
- ④ 令和5年5月から当協会ホームページ内に会員専用ページを開設し、会員への情報発信を強化した。

## (6) 人材確保育成事業

令和5年11月14日、11月28日、令和6年1月24日、2月20日に県内4校（沼津聴覚、静岡視覚、焼津分校、西部）の特別支援学校を対象に環境出前講座を行い、その様子が新聞に掲載された。（主体 青年部会）

特別支援学校での環境出前講座

開催日時	校名及び人数	座 学	体験学習
令和5年 11月28日	沼津聴覚特別支援学校 小学部 13人	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄、海洋プラ汚染、リサイクルについての話</li> <li>リサイクルクイズ</li> <li>実験、仕事紹介映像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッカー車積込体験</li> <li>パッカー車乗車体験</li> </ul>
令和6年 1月24日	静岡視覚特別支援学校 小学部・中学部 11人	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル落語</li> <li>廃棄物、不法投棄、SDGs、リサイクル、3R についての話</li> <li>リサイクル製品クイズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッカー車を触ってみよう</li> <li>パッカー車の音を聞いてみよう</li> <li>パッカー車乗車体験</li> </ul>
2月20日	藤枝特別支援学校焼津分校 高等部2年 18人	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄、海洋プラ汚染、リサイクルについての話</li> <li>リサイクルクイズ</li> <li>実験、仕事紹介映像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッカー車積込体験</li> <li>廃棄物分別体験</li> <li>パッカー車乗車体験</li> </ul>
令和5年 11月14日	西部特別支援学校 中学部・高等部 16人	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄、海洋プラ汚染、リサイクルについての話</li> <li>リサイクルクイズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッカー車積込体験</li> <li>パッカー車乗車体験</li> </ul>

## 4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を頒布した。

### 【令和5年度実績】

種 類	頒布枚数(枚)
産業廃棄物管理票	158,600
建設マニフェスト	50,400
合 計	209,000

## 5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

### (1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

- ① (公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、オンライン形式講習会と対面形式講習会の試験を計27回開催し、計1,606名の参加があった。

## 【受講状況】

種 類	開催回数	参加者(名)
産業廃棄物収集運搬課程 【新規】	5	300
産業廃棄物処分課程 【新規】	1	59
特別管理産業廃棄物収集運搬課程 【新規】	1	59
産業廃棄物収集運搬課程 【更新】	8	554
産業廃棄物処分課程 【更新】	2	73
特別管理産業廃棄物管理責任者	8	423
産業廃棄物収集運搬課程 【更新・対面形式】	1	68
特別管理産業廃棄物管理責任者【対面形式】	1	70
計	27	1,606

- ② 令和6年2月26日にWeb会議で開催された「2024年度許可講習会における事務取扱説明会(主催：(公財)日本産業廃棄物処理振興センター・(公社)全国産業資源循環連合会)」に事務局が出席し、情報交換等を行った。

## II 会員相互の扶助事業

### 1 支部運営事業

各支部(伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部)では、支部の運営、適正処理、広報の3委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

#### (1) 支部総会及び支部委員会の開催

支部総会……………各支部6月に開催

支部委員会……………随時

#### (2) 「支部だより」の発行

伊豆支部、志太榛原支部で発行

#### (3) 勉強会等の実施

支部名	開催日	内 容	参加者
東部	令和5年 6月9日	「講演会」 ・リーダーとして知っておきたい 相手をやる気にさせる言葉がけ PEPTALK!	38名
	8月22日	「勉強会」 ・災害廃棄物仮置場設置運営に係る行政担当者、 協会協力事業者の取組み事例	45名
富士	令和6年 3月25日	「勉強会」 ・自然災害における企業の安全配慮義務と 従業員の生活再建支援	60名

志太榛原	令和5年 6月25日	「勉強会」(ハイブリッド形式) ・企業の脱炭素化について	31名
中遠	令和6年 1月30日	「災害廃棄物対策研修会」 ・磐田市の災害廃棄物対策について ・協会の災害廃棄物処理対策事業について ・災害廃棄物業務のポイント	20名
西部	令和5年 8月29日	「災害廃棄物対策研修会」 ・浜松市の災害廃棄物対策について ・協会の災害廃棄物処理対策事業について ・災害廃棄物業務のポイント	28名
	令和6年 3月6日	「産業廃棄物適正処理に係る説明会」(オンライン) ・排出事業者責任と実地確認 ・産業廃棄物処理業者から見た実地確認のポイント ・解体等工事における大気汚染防止法(石綿)の基礎 *共催:浜松市	342名
計			564名

#### (4) 優良施設視察研修会の実施

支部名	開催日	見 学 先	参加者
伊豆	令和5年 11月17日 ～18日	・シタラ興産(株)(埼玉県) ・(株)グリーンアローズ関東(神奈川県)	8名
東部	6月8日	・(株)明電舎沼津事業所(沼津市)	10名
富士	5月26日	・2023NEW環境展(東京都)	10名
中部	5月26日	・2023NEW環境展(東京都)	17名
志太榛原	8月24日	[第1回] ・十山(株)井川蒸留所(静岡市)	8名
	10月19日	[第2回] ・豊通ペトリサイクルシステムズ(株)(滋賀県)	11名
中遠・西部	5月26日	・2023NEW環境展(東京都)	13名
計			77名

## 2 意識啓発向上事業

### (1) 暴力追放推進事業

- ① 令和5年6月14日の定時総会開催後に「(公社)静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会第23回大会」を開催し、暴力団排除意識の高揚に努めた。
- ② 11月21日に静岡市内で開催された「令和5年度暴力追放・銃器根絶県民大会」に中部支部役員5名が参加協力した。

## (2) 労働安全衛生事業

- ① 産業廃棄物処理業における労働安全水準のなお一層の向上を図るため、第3次労働災害防止計画(令和5年度～令和7年度)を新たに運用した。
- ② 令和6年2月に「安全衛生方針(ひな形)」を作成・公表し、処理業者会員の経営者トップに対して、安全衛生方針による所信表明を働きかけた。
- ③ 令和5年12月に処理業者会員に対して安全衛生活動調査を実施した。
- ④ 令和5年10月6日、令和6年2月9日に安全衛生委員会を開催し、安全衛生事業等について協議した。

## (3) 表彰

### ① 産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

令和4年度知事褒賞に会員1名が受賞した。

【受賞者】(敬称略)

・森 勝久(静岡資源株)

### ② 会長表彰

令和4年度会長表彰に、功労者表彰5名、優良従事者表彰6名、優良事業所表彰2社、安全優良職長表彰2名、安全優良事業所表彰2社が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	(株)フジタ 金坂 博文
	花菱建設(株) 小長谷 徹
	(株)アスク長谷川 長谷川 広亘
	(株)コーシンサービス 福代 和正
	浜松ホトニクス(株) 赤堀 伸二
優良従事者表彰	セキトランスシステム(株) 関 泰士
	(株)イーシーセンター 森 真也
	(株)イーシーセンター 池上 進
	(株)イーシーセンター 海野 健太郎
	丸徳商事(有) 望月 智恵美
	(株)ミダック 荊沢 美恵子
優良事業所表彰	(有)エー・ワイ環境開発
	(株)堀内土木
安全優良職長表彰	(株)レックス 土屋 光儀
	(株)レックス 久保田 貴博
安全優良事業所表彰	静脈産業(株)
	中遠環境保全(株)



### ③ (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰

令和5年度 (公社)全国産業資源循環連合会会長表彰に、当協会会員の中から、功労者表彰1名、地方功労者表彰1名、優良従事者表彰3名が受賞した。

#### 【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	環境のミカタ(株) 渡辺 和良
地方功労者表彰	(株)コーシンサービス 青島 邦信
優良従事者表彰	マーセリサイクル(株) 池上 喜久
	マーセリサイクル(株) 坂本 政則
	マーセリサイクル(株) 内山 寸麻子

### (4) 人材確保育成事業

#### 新任担当者向けの「産業廃棄物処理基礎講座」

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和5年 10月3日	静岡市	・産業廃棄物処理の心得 ・産業廃棄物処理法の基礎 ・廃棄物処理の現場業務:丸徳商事(有) ・排出事業者の廃棄物管理:積水ハウス(株) 静岡工場	57名

## Ⅲ 管理運営

### 1 定時総会・理事会等の開催

#### (1) 定時総会

令和5年6月14日にグランディエールブクトーカイで令和5年度定時総会を開催し、議案1件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告1件を行なった。

#### 【決議事項】

第1号議案 令和4年度事業報告及び令和4年度収支決算書 承認の件

#### 【報告事項】

(1) 令和5年度事業計画書及び令和5年度収支予算書

#### 【出席等】

議決権のある当法人の会員総数 972名

決議に必要な会員数 972名

出席会員数 658名

(議決権行使書面によるもの538名を含む)

## (2) 理事会

- ① 令和5年4月27日にグランディエールブクトーカイで第1回理事会を開催し、議案3件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告1件を行なった。

### 【決議事項】

第1号議案 令和4年度事業報告及び令和4年度収支決算書 承認の件

第2号議案 第3次労働災害防止計画策定の件

第3号議案 新規会員の入会承認の件

### 【報告事項】

(1) 令和4年度下半期事業の実施状況

### 【出席等】

理事総数 28名

決議に必要な理事の数 14名

出席理事数(会場出席) 18名

(Web出席) 8名

出席監事数(会場出席) 2名

- ② 令和5年6月14日にグランディエールブクトーカイで第2回理事会を開催し、議案1件を原案どおり決議(承認)した。

### 【決議事項】

第1号議案 新規会員の入会承認

### 【出席等】

理事総数 28名

決議に必要な理事の数 14名

出席理事数(会場出席) 22名

出席監事数(会場出席) 1名

- ③ 令和5年10月23日にグランディエールブクトーカイで第3回理事会を開催し、議案2件を原案どおり決議(承認)した。

また、報告1件を行なった。

### 【決議事項】

第1号議案 就業規則の一部改正の件

第2号議案 新規会員の入会 承認の件

### 【報告事項】

(1) 令和5年度上半期事業の実施状況

### 【出席等】

理事総数 28名

決議に必要な理事の数 14名

出席理事数(会場出席) 18名

(Web出席) 4名

出席監事数(会場出席) 2名

- ④ 令和6年3月28日にグランディエールブクトーカイで第4回理事会を開催し、議案6件を原案どおり決議(承認)した。  
また、報告3件を行なった。

**【決議事項】**

- 第1号議案 令和6年度事業計画書及び令和6年度収支予算書の件  
第2号議案 令和6年度定時総会の開催の件  
第3号議案 理事会による理事候補者の推薦の件  
第4号議案 給与規程の一部改正の件  
第5号議案 新規会員の入会承認の件  
第6号議案 令和5年度会長表彰の件

**【報告事項】**

- (1) 次期(令和6・7年度)役員候補者の選定状況  
(2) 令和6年度「全産連」会長表彰に係る被表彰者の推薦  
(3) 令和6年度事務局体制について

**【出席等】**

理事総数	28名
決議に必要な理事の数	14名
出席理事数(会場出席)	19名
(Web出席)	3名
出席監事数(会場出席)	2名

**(3) 三役会**

令和5年12月4日に三役会を開催し、次期の組織体制について協議した。

**(4) 運営委員会**

令和5年4月17日、6月2日(書面表決)、10月10日、令和6年1月26日、3月11日に運営委員会を開催し、総会及び理事会へ付議する議案等について協議した。

**2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用**

**(1) 新規会員の入会促進**

協会未入会の建設業者を対象に入会案内を送付するとともに、会員以外も参加する講習会等において入会案内を配布するなど新規会員の入会促進に努め、10件の入会があった。

その一方で18件の退会等があったため、令和5年度末の会員総数は1,016会員となった。

【令和5年度会員数の推移】

区 分		令和5年 4月1日	入会	退会	令和6年 3月31日	
正 会 員	処 理 業 者	収集運搬	329	2	(1) 4	327
		中間処分	307	(1) 3	2	308
		最終処分	27	0	0	27
	小 計		663	5	6	662
	排出事業者	排出事業者	288	1	9	280
		団 体	24	0	0	24
	小 計		312	1	9	304
計		975	6	15	966	
賛 助 会 員		49	4	3	50	
合 計		1,024	(1) 10	(1) 18	1,016	

※（ ）内は、区分変更（収集運搬→中間処分）

※退会等の主な理由

- ・処理業者では、業務縮小、業の廃止等
- ・排出事業者では、事務所等の閉鎖、経費の削減等

(2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや情報配信等に役立てた。

## 附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。